

発刊にあたって



非核の政府を求める京都  
常任世話人代表  
望田 幸男

本会における2021年度の非核平和の運動の一環として、「非核  
京都 30有余年の歩み (1986—2021)」を略述することになっ  
有余年は、過ぎ去り振り返れば、人生のかなりの部分をおお  
内実も多岐・多様にわたる。

それらをすべて再現し語りつくす余裕はいまはない。そこ  
それなりに全力をつくし、心に刻まれた印象深い体験を選び  
を全体を通じて、数編に整理・略述することにした。それ  
テーマ別に列記すれば、寄稿者2000人による冊子『ハー  
ピース』の発行、「京都の宗教者シンポジウム」、「非核自  
動」、「平和いろはカルタ」の作成・普及、編著『国際貢  
力新戦略』の発刊、「日めぐり平和カレンダー」の作成、  
東アジア非核地帯条約のキャンペーン、秋葉広島市長  
と非核平和の学習会、福島原発事故をめぐる非核平和運  
と深化、脱原発と再生可能エネルギーの振興、気候危  
素化の探究などが挙げられる。

これらの作業を支えつつ、情報収集・編集・印刷の  
会事務局メンバーなど「陰の支えの人びと」を明記  
た加えて、これらの運動の展開にあたり、京都を中  
識人・芸術家や平和運動・労働運動の諸分野の活躍  
力があつたこと、発案を具体化し運動化するには、  
だけにとどまらない、多数の、多様な人びとの尽  
ことを、私たちは明記しておかねばならない。

非核平和の運動の課題達成は、いまだ道遠く、  
い。会員みなさんのご尽力・ご協力を、本会  
ねてお願いする次第です。

# 非核の会・京都 30有余年のあゆみ

1986—2021

望田 幸男

引でき  
し、ここ  
した。本  
した。  
『ピース』発刊  
かけに応え  
た(当時、立  
東京に居を移  
館大学教授)  
なる冊子を、全



1986~1991年 1